

「お米作り」

昨年の6月、園で4・5歳児の子どもたちが田植えをしました。子どもたちはもちろん、私たち保育者も素人なので、苗をいただいた方に教えてもらいながら、水を入れたり、抜いたり…。

「オタマジャクシがおる」「カエルになった」「実がついた。でもまだやわらかい」等、毎日稲の成長を楽しみに観察していました。

10月、いよいよ稲刈り。刈った稲を天日で乾燥させるための結び方をインターネットで調べ、乾燥。そして脱穀。両手いっぱいのお米を収穫することができました。

藁も無駄にはしません。お正月飾りのしめ縄を作り、新年を司る年神さまをお迎えし、今年も園児みんなの幸せと健康をお願いして玄関に飾りました。

今年度も、残り3カ月。まだまだ経験させてあげたいことがたくさんあります。充実した日々が送れるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



「今日も一輪車しよう！」

園庭に出るとすぐに一輪車で遊び始める子どもたち。「手放しで乗りたい!」「あの柱まで行きたい!」と具体的な目標をもち、毎日熱心に取り組んでいます。また、友達と手を繋いで回ることにも挑戦する姿も見られます。



始めはタイミングが合わず、なかなかうまくいきませんでした。何度も「いくよ、せーの!」と声を掛け合い挑戦する姿からは、目標を達成しようとする強い思いが伝わってきます。

やっとの思いで成功すると笑顔でハイタッチ! 諦めずに挑戦する姿はとてもかっこいいですね。

これからも子どもたちの「やってみよう!」とする意欲と目標に向かい努力する姿を支えていきたいと思っています。



飯山中学校ボランティアリーダー

2年4組 西俣 夏穂

「学校や地域で何かの役に立ちたい! 何かにチャレンジしてみたい!」と1~3年生の有志35名が集まり、不定期に活動をしています。コロナ禍による制限が緩和されたことから、中学校内だけでなく、飯山町内へと活動の場を広げています。今年度は、夏休みに学校周辺のごみ拾いと草抜きを行ったり、児童館のイベントのお手伝いや、コミュニティ祭りの準備やお手伝いなどを行ったりしました。

いつも私たちを支えてくださっている地域の方々に、感謝の気持ちを伝えられるように、一つ一つのボランティアに積極的に取り組んでいます。今後も様々な場で活動にチャレンジしたいと思っています。ボランティアをお願いしたいという際にはぜひ、お声掛けください。

